

一般質問発言通告書

発言順位 8 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 2年 2月 18日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 11 番 古長谷 稔



質問事項1	次世代が夢を描ける開発を！大場地区開発可能性調査について
具体的内容	令和2年度予算案（ビジュアル版）に、「市民総参加のまちづくりの推進」の枠組みにおける土地政策推進事業として、大場地区開発可能性調査の業務委託が計上された。対象の土地は、環状道路の大場・函南IC周辺に位置する県立三島南高校の前の市街化調整区域で、19.3ヘクタールある。諸般の経過を踏まえ、昨年7月、長い間の懸案だった地権者（令和元年12月時点162名）の約93%が都市的土地利用に賛成してくれたことを踏まえ、大場地区土地利用推進協議会が市への要望書を提出した。これらを踏まえた、三島市の見解を伺う。
	1. 可能性調査予算計上に至った経過と、都市的利用における問題点や課題について
	2. 「市民総参加のまちづくりの推進」という位置づけと、第3次の都市計画マスタープランにおける地域別構想の検討時に予定される地域別市民ワークショップとの関係について
	3. 当該地の洪水ハザードマップにおける色付けに関して、外水氾濫と内水氾濫の違いと、開発可能性調査における留意点について
	4. 今後、委託を予定している可能性調査の方向性と発注仕様、調査費の内訳について
	5. これらを踏まえた、今後の市の関わり方について
質問事項2	時代のニーズに応えた三島駅南口東街区再開発の実現に向けて
具体的内容	平成24年3月に定めた三島駅周辺グランドデザインには、「戦略」として、「広域的利用を見込み、交通の結節点として駅周辺を活性化」や、「健康・医療を軸に産・学・民・官、それぞれが有機的に連携しながらファルマバレープロジェクトの担い手となり、高度な都市機能の集積や次世代産業を創出」など、現在の計画には見当たらない時代のニーズが記載されている。会派「新政会」ではこの度、他市町議員等へのアンケート調査を実施して周辺市町から見たニーズを把握した。また、三島市民を対象にした市民アンケートも実施し、東街区再開発に対する市民意見を、可能な範囲で把握した。変化の激しい昨今ではあるが、時代のニーズは大きくは変わっていない。これらを踏まえ、以下の問いに対して見解を伺う。
	1. 他市町議員等へのアンケート（新政会として令和元年12月実施）の結果を踏まえ、伺う。 (1) 多くの他市町議員等から、三島駅再開発に対して「公益性の向上」と「交通結節点としての機能」を大いに期待されていることについて (2) 同様に他市町議員等から、三島駅周辺の再開発と同時に、三島駅の南北移動について改善されることが、大いに期待されていることについて
	2. 市が進める三島駅南北移動環境の改善に向けたアンケートの背景と経過、及び結果を伺う。
	3. 三島市民対象の市民アンケート（新政会として令和2年1月実施）の結果を踏まえ、伺う。 (1) 市民の中にある「不安、不満」という感覚をどう解消していくのか。 (市財政、高層マンション、駐車場・交通量、南北自由通路、地下水など)
	(2) 市民の中にある「説明不足」という感覚をどう解消していくのか。 (事業の進め方、市民参加、医療・健康施設、広域性、回遊性など)
	4. 広域健康医療拠点における「健康・医療」の位置づけについて
	5. 再開発計画と裾野市におけるトヨタのネクティッドシティ構想との連携可能性について